事業者温室効果ガス削減報告書概要(第一計画期間) 第2年度分

1 事業所の概要

- 予末川の帆女					
事業者の名称	学校法人東北医科薬科大学				
事業所の名称	東北薬科大学福室キャンパス(東北医科薬科大学病院)				
事業所の所在地	仙台市宮城野区福室1-12-1				
主たる事業	医療業				
事業者の該当要件	○ 条例第2条第5号イに該当する特定事業者				
	条例第2条第5号ロに該当する特定事業者				
	条例第2条第5号ハに該当する特定事業者				
	条例第15条第1項に該当する一般事業者				
排出抑制の	学校法人東北医科薬科大学は大学としての社会的責任(USR)を踏まえ、環境保全に関連する法規制等を遵守するとともに、省エネルギー法に基づく努力目標「5年間で消費エネルギー原単位を年平均1%削減」達成に向け法人全体として取り組んで行く。				

2 温室効果ガスの排出状況等

<u> 4 皿主刈木ハへいた</u>	2 温至効果ガスの排出状况等							
温室効果ガスの削減目標	基準年度	2019 年度	基準排出量	8,006 t-CO ₂	基準原単位	0.129		
	目標年度	2022 年度	目標排出量	7,765 t-CO ₂	目標原単位	0.1251		
			削減率	3.01 %	削減率	3.02 %		
温 室 効 果 ガス の 排 出 状 況	第1年度	2020 年度	排出量	8,453 t-CO ₂	排出原単位	0.1331		
			削減率	-5.59 %	削減率	-3.18 %		
	排出量等の 増減理由	敷地内に共用棟の増設によりエネルギー使用量が増加したことに加え、コロナ禍により機械換気等による換気量の増加、またこれに伴う空調負荷が増加したため、温室効果ガスの排出量及び原単位が増加した。						
	第2年度	2021 年度	排出量	8,631 t-CO ₂	排出原単位	0.1359		
			削減率	-7.81 %	削減率	-5.35 %		
	排出量等の 増減理由	大学施設において、遠隔から対面授業に切り替わったことと、2020年度まで 1~5年次の学生しかいなかった中、2021年度は6年次の学生も増加したこと により、大学施設の稼働率が上がったため、エネルギー使用量が増加したこ とに伴い、温室効果ガスの排出量及び原単位が増加した。						
	第3年度	2022 年度	排出量	t-CO ₂	排出原単位			
			削減率	%	削減率	%		
	排出量等の 増減理由							

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状 況	基準年度	88 %	目標年度	100 %	
	第1年度	88 %	実施状況の 説明等	基準年度と同等に実施することができた。	
	第2年度	92 %	実施状況の 説明等	基準年度と同等に実施することができた。	
	第3年度	%	実施状況の 説明等		

選択対策の実施状況	項目				
	エネルギー使用量の見える化(前年度比較)				
	エネルギー使用量の見える化(分計による課題発見)				
	外気冷房				
	熱源設備 冷却水温度の適正管理				
	熱源設備 冷却水の水質管理				
	窓の断熱性向上				
	デマンド管理				
	ボイラーの給水及びブローの管理				
	蒸気トラップの管理				
	項目	具体的な取組内容	実施状況		
その他の対策の実 施 状 況	廃棄物削減対策の実施	廃棄物の分別の徹底	実施済		